

- 輸入の割合が大きい加工・業務用野菜の生産を拡大し、国産野菜のシェア向上を目指します。
- 機械化一貫体系の導入やコンテナ出荷などにより、作業労力の軽減をはかります。
- 出荷先の確保、契約栽培の導入により、生産者手取りの確保をはかります。

## 【JA全農にいがたが取り組む主な加工・業務用向け野菜】

### トマト



トマトの収穫(コンテナ)

### たまねぎ



たまねぎの鉄コンテナ

### にんじん



にんじんのフレコン

### キャベツ



キャベツの鉄コンテナ

## 【品目別作型（参考）】

品目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加工たまねぎ			■		●	●	▲	▲				
加工キャベツ				●	●	▲	▲	■				
加工トマト		▲	▲		■							
加工にんじん				●	●		■					

●：播種 ▲：定植 ■：収穫

※加工トマトは契約先からセル苗の供給を受け、育苗管理の後に定植をします。